

産卵性能の高い烏骨鶏の生産

畜産試験場 養鶏研究所

研究のねらい

近年の健康志向や自然食品ブームの中、古くから体に良いと言われている烏骨鶏の卵は高級な食材として流通しています。しかし、烏骨鶏は卵を抱く性質が強く、産卵率が高くありません（年間 50 個程度）。そこで、烏骨鶏の産卵調査を行い、その中で産卵率の高い個体を選抜することにより、さらに産卵性能の高い烏骨鶏の生産を行っています。

研究の成果

平成 11 年度に烏骨鶏を導入し（導入世代）、産卵調査・選抜を繰り返し、平成 15 年度には第四世代の産卵調査を終了しました。

- ①第四世代の産卵性能は、初産日齢が 153.6 日齢、産卵率が 42.0%、平均卵重が 37.8g、飼料要求率が 3.75 で、第三世代に比べて特に産卵率が高くなりました。
- ②第四世代の成績を導入世代と比較すると、初産日齢が約 12 日短縮、産卵率が 3.8 ポイント上昇、平均卵重が約 0.5g 増加、飼料要求率が 0.34 改善しました（図 1、2、3）。

成果の活用面・留意点

平成 16 年 5 月より、高産卵烏骨鶏のヒナの配布を始めました（1 羽 550 円）。新規就農者や中小規模農家等の副収入源としての利用や、愛玩用、情操教育用としての利用など県内に広く普及をしていきます。



烏骨鶏

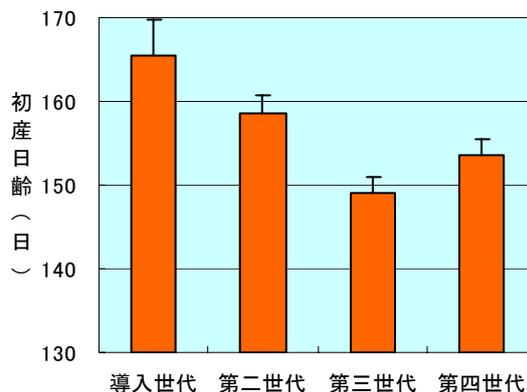


図 1 各世代の初産日齢

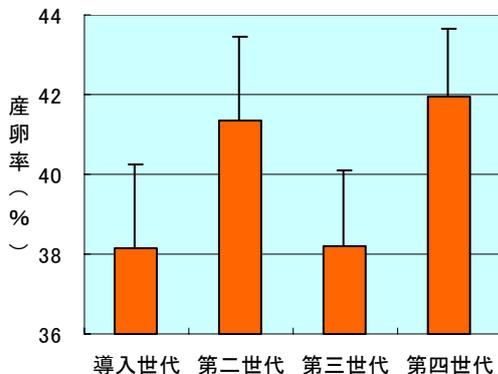


図 2 各世代の産卵率 (%)

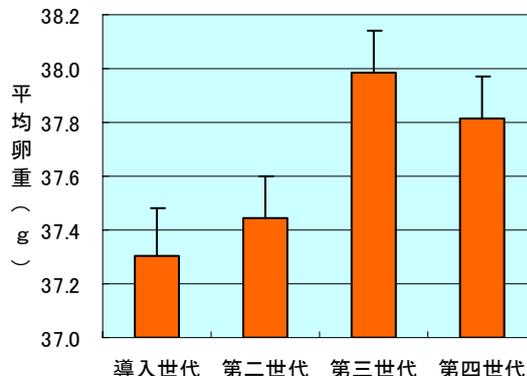


図 3 各世代の平均卵重 (g)

(問い合わせ先：0738-54-0144)